











くう...
お姉さまとの特別な夜のための
とっておきの下着ですのに...

あー、そういう系もういいから
しっかり腰振って精液絞りな

女なんてちんぽ突っ込まれりや
男に屈するモンだって分かったろ？

馬鹿を言わないでくださいまし！

お姉さまの件さえなければ
誰が貴方のような無能力者に――



へっ！
まーだお勉強が足りねえ
みたいだなっ！

あっ♡あっ♡

ソコッ ダメだと……♡
んんっ♡ んおっ♡

（だっ、大誤算ですの……！
オスの生殖器と私のソレが
粘膜接触しているだけなのに――）

（お姉さまを想ってするのより
ずっと……イイだなって……）





ぐっ

あああああ♡♡

ふっ
ふっ

おらっ
もう一発食らっどけっ♡

は……♡
ああ……♡

ニヤニヤ

う……っ♡ 奥が……
吸い付きやがる……っ♡

（また……っ 好き勝手に
膣内で射精して——）

（なのに快楽で嫌悪感が……
押し流され……ますのぉ……っ♡）

きゅん♡

うふふ

うふふ

うふふ

ふうっっ
たまんねえな、お前！♥

にっ…

じゃあ次は後ろからだ
四つん這いでケツ向けな

ま、まだ致しますの…？

(参りましたわね
打開策が全く……)

(それに…避妊薬^{ピル}を使っても
確率ゼロというわけでは——)



びっ

はっ









あの超電磁砲の部屋で
ルームメイトとセックス三昧とはなっ
前の俺じゃ考えられねえや

ずいぶん心配なく♡
諸々不都合のないよう
根回し済みですので

それより逢瀬の最中ですよ？
他の女性の名はご遠慮頂けませんこと？

へへっ

二言目には「お姉さま」だったのが
随分とまあ可愛くなったもんだっ♡



テレボット
そういやお前、もう能力使って
避妊とかすんじゃないぞッ

はっ はいっ♥
わたくし
私が悪かでしたのっ

ぞ覧くださいなっ
このお腹が何よりの証明ですわっ♥

ああっ そうだよなっ！
気分いいぜっ この腹見てるとよおっ♥



ああッ♥ もっとう
もっとう愛して下すのまじっ♥

おおっ 黒子っ♥
俺のっ…黒…子おっ♥♥

あああゝゝッ♥♥

黒子の全てはっ
貴方のモノですのまっ♥♥

(この街じゃ無能力者^{レベル0}ってだけで
存在を無視され続けてきたが――)

^{レベル4}
大能力のコイツにガキ産ませたら
ちったあ爪痕を残せる気がするぜ…っ)





まあ……
まだお姉さまのことも狙って
おいでですか？

あれであの方、女性としては
ほぼお子様という感じですよ？

わたくし
私の夜伽にお慣れの貴方には少々……ふふっ♡

分かりましたわ、手配致します
その代わり——

黒子に寂しい思いをさせないで
下さいましね……♡

